



2学期もあと一週間 —素敵な歌声で締めくくろう♪—

長かった2学期も残すところ一週間になりました。来週の金曜日は終業式です。

2学期のスタートは体育大会の取り組みから始まりました。応援旗作成、学年練習や全体練習、係ごとの準備、生徒会のオープニングの準備もありましたね。それらを仲間と共に一生懸命取り組んだことで、素晴らしい体育大会ができました。多くのみなさんがやり切った自信と、クラスや学年のつながりを実感できたと思います。

2学期の最後は合唱祭で締めくくります。長い2学期の間に深めてきたクラスや学年の姿を、みなさんの歌声で表現してほしいなと思います。先日3年生の体育館での合唱練習を見ました。各クラスの練習の後、学年全体で「手紙～拝啓十五の君へ～」を練習しました。練習段階とはいえ、歌っている3年生の姿を見ると、「あ～、大きくなったなあ…もうすぐ卒業やなあ…」と、しみじみした気持ちになりました。

気持ちのこもった歌声は聴く人に感動を与えます。22日の合唱祭でのみなさんの姿、本当に楽しみです。素敵な歌声で2学期を締めくくってください。



3年生学年合唱の練習

1年生 プロサッカー選手のお話を聴きました

1年生が3学期に取り組むボランティア体験学習の事前学習として、プロサッカー選手 愛媛FCの忽那喬司(くつなきょうじ)選手にオンラインのインタビュー形式でお話を聴きました。

内容は地域貢献などのボランティアのお話にとどまらず、プロスポーツ選手としての心構えや生き方、あるいは忽那さんのプライベートな情報に至るまで多岐にわたりました。

生徒からの質問で「サッカー選手としての夢は?」というのがありました。私自身、その答えは「J1や海外で活躍したい」とか「シュートをシーズン〇〇本決めたい」、「4年後のワールドカップに出場したい」などを予想していたのですが、忽那さんのお答えは「一番は見てくれている人に夢や感動を与えられるような選手



になりたい」ということでした。自分自身というよりも、自分を応援してくれる人を大切にしたいという思いに、プロフェッショナルマインドを感じました。愛媛FCのチームとして(ガンバなどほかのチームもそうですが)、積極的に小中高など積極的に交流活動をしているのも、「子どもたちに夢や希望を与えたい」という思いからだそうです。そのことで相手も喜ぶし、自分自身も励まされ、うれしい気持ちになるそうです。そんなところに、これから1年生のみなさんが体験しようとしているボランティア活動の本当の意味があるような気がしました。

忽那選手、たくさんの質問に本当に丁寧に答えていただき、ありがとうございました。みなさんも、J1のチームだけでなく、愛媛FC(現在J3)の忽那選手の今後に注目してください!

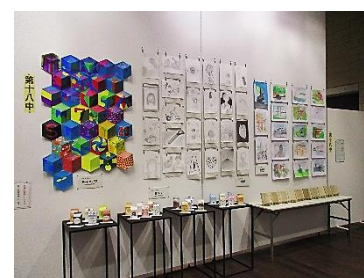
12月の取り組みから・・・

月1クリーン作戦 毎度のことながら、たくさん参加し一生懸命取り組む姿がかっこよかったです



クリーン作戦の中でも一番やりごたえがあるのが、この季節の落ち葉掃除です。大量の落ち葉を何度も何度もかき集めては、ビニールに詰める作業を、ワイワイ楽しみながら時間いっぱい続けました!

豊中市教育美術展 12/9～13 文化芸術センター



豊中市全中学校の美術作品は見てごたえ十分。十八中も全学年の作品が展示されました。共同作品1年生のアートボックスは、色や形、トリックアートの面白さで目立っていました。

サウンドスクール 12/9・12 2, 3年生

大阪音楽大学の方に来ていただき、邦楽演奏会を楽しみました。琴や三味線の演奏を聴くことは、普段なかなかないことですが、心にしみこんでくるような音色に癒されました・・・



3年生調理実習 12/12～14

コロナ禍が始まった年に入学した3年生にとって中学校での調理実習は初めての体験です。おいしそうに盛り付けされたハンバーグのお皿を職員室に届ける3年生の姿がかわいかったです。

